

01 前向きな学級集団をつくる！ リーダーを育てるには？

担任経験9年目・男性
学芸会で、学級や学年が1つのチームになって大成功させるには、子どもの中のリーダーの存在が重要だと思っています。リーダーとしての自覚を高めたり、周りもそれを認めたりする指導の手立てを教えてください。

A
リーダー育成は、自治的な集団づくりの要。育成の基本的な考え方を押さえよう！

学級の子どもたちの関係性がよく、いろいろなことに前向きに取り組む集団には、プラス思考でチャレンジ意欲なあるリーダーが必ずいる。その資質をもっている子どもがリーダーシップを発揮できる環境を整える。

戦略の構造 /

担任としての基本的な考え

- どの子どももリーダー性を発揮する可能性をもっている。
⇒ その中から学級を統率するリーダーを見いだし育てよう！

子どもが活躍する場面を意図的に設け、リーダー性をキャッチする。

「場」を利用する。

その子どもの得意が生かされる場面では、リーダー性を発揮するチャンスがある。



その子どもが得意とすることでリーダー性を発揮するように促す。

人材を発掘する。

担任として、リーダー性を発揮することの意味や方法を助言する。



学級みんなの思いや考えをまとめたり、方向づけたりすることが得意な子どもに、学級に貢献できるリーダー性を備えていることを自覚させる。

自他共に認めるリーダーが活躍する集団では、学級みんなの居心地がよく、よさや可能性を発揮することができる。

仕掛けのポイント

💡 どの子どもも持っているリーダー性を見い出す

「リーダー」というと、学級委員のような存在をイメージしがちだが、子どもは自分が得意なことを生かせる場面では、友達をリードする。それが遊びや学級活動や力仕事の場面であったりする。つまり学校生活では、どの子どももリーダー性を発揮する場面が多様であり、担任はそれをその子の特性の一つとして把握したい。その中でも、集団を統率することを得意とする子どものリーダー性を育て、学級づくりに生かしていく。

💡 立場・役割がリーダー性を伸ばす

誰でも役割をあたえられ「活躍を期待している」と言われればモチベーションを高める。負担が大き過ぎず、少し手を伸ばせば届きそうな役割をあたえたい。その役割を果たしたところで称賛の声をかければ、自ずと次の役割を意識する。こうした意図的な仕掛けで、学級づくりの核となる子どもにリーダーシップを発揮させ、自他共に認めるリーダーを育てていく。その際、リーダーとして必要なスキルを指導していくのである。

どの子どもにも、リーダー性を発揮できる機会を意図的にあたえよう！

- 1 学習や行事、日々の学校生活の中で、子どもたちにリーダー性を発揮させる機会を書き出す。
- 2 学級の全ての子どもを念頭に、それぞれの場面で活躍のチャンスをあたえられるか検討し、アプローチの見直しをもつ。
- 3 諸活動で意図的に立場や役割をあたえて、その取り組みで頑張ったことを評価して伝える。

子どものリーダー性を発揮させる場面メモ

場	機会(チャンス)	
日常	<ul style="list-style-type: none"> ・学級集団の雰囲気を明るくする、盛り上げる。 ・学級集団の雰囲気を建設的・向上的にする。 ・めざす学級集団づくりに貢献する。 	
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 【学習班】・話し合い場面(進行・まとめ役) ・発表作品を作成する場面 【全体での話し合い】 ・全体の活動をけん引する。 ・みんなの考え等をまとめる。 	
係・当番活動	<ul style="list-style-type: none"> ・係や当番の班長として、任されている仕事に責任をもつ。(係のメンバーの分まで考えて仕事をやり通す) ・仕事の目的を果たすために、みんなに指示を出す。 ・仕事をよりよく行うためのアイデアを出す。 	
行事	運動係	<ul style="list-style-type: none"> ・得意とする運動や文化的な分野で友達のモデルとなる。
	文化係	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ先生として活躍する。
	遠足・宿泊係	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員としてみんなをまとめけん引する。 ・各係の中で、責任を果たす。

誰にでもリーダーになるチャンスがあるのですね。

そのことが得意な人が、みんなをリードすると学級全体のためになるよ。



集団をまとめ、生産性を高めるリーダー性を見いだし育成しよう！

- 1 子どもたちは、日常の学校生活を共にする経験から、誰が集団をリードすることが得意であるかだいたい分かっている。自薦他薦で学級委員や代表委員、実行委員、班長等を決める。
- 2 班長会議や実行委員会等を開き、担任が期待することを聞いたり、自分たちが考えるリーダーとしての役割について話し合ったりして、リーダー像をはっきりさせ、実現への意欲を高める。
- 3 担任の助言や自分たちの話し合いで明らかにした内容を、いつでも使える「リーダーとしての役割と責任」として可視化する。



移動教室でのハイキング班の班長8人を決めたい。まず役割は、班をまとめ、安全に楽しくハイキングできるようにすることです。ぜひその役割を務めたいという人、あの人になら任せられるという人の名前を、このカードに書こう。

いつもみんなのことを考えて発言している〇〇くんに班長を任せたい。



楽しいハイキングをするために、みんなをまとめる役割をやってみたい。

このカードの内容の整理に、学級委員や代表委員などその趣旨に沿ったメンバーを加え、人選作業をする。

学芸会大成功実行委員の役割と責任の心得！

- ① みんなに呼びかけることは、まず、自分たちが行おう。
- ② 練習の始めと終わりのあいさつで、学年のやる気を高めよう。
- ③ 「マイナス言葉」ではなく「プラス言葉」を使おう。
- ④ 苦手な仲間の気持ちや体の調子に気を配ろう。
- ⑤ 自分たちが元気で、最後までやり抜く気持ちをもち続けよう。